

令和3年度第11回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和4年2月16日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
大野 元(岐阜県産婦人科医会 理事)
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)
オブザーバー: 小山 静代(岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長)
事 務 局 : 山田 涼子(感染症対策推進課 技師)
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)
青地 里佳(保健環境研究所 補助職員)

4 議 題 (進行:澤田委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○動向調査の表について

(委員より)

- ・年次ごとの比較について、2020年からの3年間を比較するのが良いのか。
- ・コロナ渦となってからを比較しても意義は低いのでは。

(事務局)

- ・2021年比とコロナ前の2019年比とを比較するようにします。

○感染性胃腸炎について

(事務局)

- ・食品衛生におけるデータは、飲食店で発生したものであり、流行状況とは言えない。食品を介するものでは、ウイルス性はほぼノロウイルスである。原因不明の食中毒例も少なく、感染症流行の参考にな

るものは見つからなかった。食品衛生領域では、ノロウイルスは減少傾向である。

(委員より)

- ・全国的にも感染性胃腸炎は昨年より増えているが、明確な要因はわからない。